

【施設状況】

グループ名称	芋井公民館										
指定管理者名	芋井地区住民自治協議会							法人番号			
所管課	主	603200	家庭・地域学びの課		副						
構成施設	3373	芋井公民館									
施設分類	01	企画型			施設利用者圏域	01	地域施設	利用制適用区分	03	一部利用料金制	
施設概要	大集会室(ホール) 1、会議室 1、料理実習室 1、図書室兼学習室 1										
施設設置目的	公民館は、市町村その他一定区域内の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。										
基本方針等	地方自治法(第244条)教育基本法(第12条)の理念に基づく公の施設であることを念頭において社会教育法(第20条、第22条)に定める事業を、利用者の安全対策を図り、平等、公平な運営に努める。										
主な実施事業	・各種講座の実施 ・講演会 ・展示会の開催 ・図書等を備えその利用を図る ・貸館事業										

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	・協定、事業計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	芋井地区住民自治協議会					当該指定管理者の 指定回数	3 回
指定期間	令和5年4月1日	～	令和10年3月31日	5年	当該指定管理者の 管理運営開始日	平成27年4月1日	
指定 管理 者の 健 全 性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。 また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。						評価
	特記事項 (問題等があった場合に、 その内容等を記入)						3

2 施設の有効活用

No. 73

施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)	利用区分等	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	対前年比	評価
	利用者数	人	1,077	990	2,177	2,065	95%	
	利用率	%	3.3	3.0	4.3	4.2	98%	
		(特記事項) 利用率は、部屋別・3区分(午前・午後・夜)ごとの利用率の総平均						

事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案	追加事業、未実施事業及び未実施の理由
	市指定事業	・芋井公民館の利用許可に関する業務 ・社会教育法第22条に規定する事業の実施に関する業務 ・芋井公民館の設備及び維持管理に関する業務 ・教育委員会が定める業務 ・芋井公民館の利用の許可、不許可及び取り消しに関する業務 ・施設、付属品及び物品の維持管理に関する業務	
	自主事業	提案を求めている	

サービス維持・向上の取組み (広報等)	・公民館報 3回／年 発行(全戸配布)。また、ホームページの更新により情報発信を行い、公民館活動の広報をした。 ・上記のほか、講座の開催案内にあたり、広報ながのの配達にあわせて、毎月チラシの回覧を行った。また、マスメディア(市民新聞)も活用した。 ・講座の申し込みをEメールでも可とした。
------------------------	--

3

3 利用者評価

利用者評価		区分	内容	評価
利用者評価	利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法	利用者アンケート	4
		(2) 調査、会議等の内容	・学級講座ごと受講者を対象に、講座終了時にアンケートを実施した。アンケートには次に希望する講座内容記載欄を設け、利用者ニーズの把握をした。 ・貸館利用者は、利用簿の欄に要望を記入する欄を設け、利用簿返却時等に聞き取りを実施した。	
		(3) 調査、会議等の結果	実施した一般講座:21講座(24回) 講座参加者数:247人 うち アンケート回答者数247人 満足:96.0% やや満足:4.0% やや不満:0% 不満:0% (満足、やや満足の合計 100%)	
	利用者からの評価・要望・苦情等	(1) 良好とする評価	すべての講座で「満足」または「やや満足」の高い評価を受けた。 特に「みそづくり」など、家庭では難しいものも、公民館のミニサーを活用することで参加しやすくなっている。 大豆をはじめ、講座で使用する食材は地元の生産組合と協力して調達し、地産地消で食文化の継承をしている。	
		(2) 苦情・改善等の要望事項	トイレが詰まっている。	
		《対応措置》	修繕を実施	

4 事業収支

No. 73

事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(令和6年度)				市の収支				評価		
		年度計画額		収支実績額			令和6年度決算			令和5年度決算(前年度)	
		項目	金額	項目	金額		項目	金額		項目	金額
	収入	利用料金	0	利用料金	0	歳入	使用料	0		使用料	2,300
		指定管理料	9,924,000	指定管理料	9,924,000		雑(納付金)	0		雑(納付金)	0
委託料		0	委託料	0	行政財産目的外使用料		0	行政財産目的外使用料	0		
販売収入等		0	販売収入等	0	貸付料		0	貸付料	0		
その他収入		12,000	その他収入	16,964	その他		0	その他	0		
計		9,936,000	計	9,940,964	計		0	計	2,300		
支出	人件費	7,090,000	人件費	7,095,081	歳出	指定管理料	9,924,000	指定管理料	9,924,000		
	設備管理費	242,000	設備管理費	287,733		委託料	0	委託料	0		
	備品購入費	0	備品購入費	0		需用費	0	需用費	0		
	修繕費	100,000	修繕費	81,400		役務費	0	役務費	0		
	光熱水費	672,000	光熱水費	685,197		使用料・賃借料	76,560	使用料・賃借料	76,560		
	事業費	617,000	事業費	732,644		修繕費	0	修繕費	0		
	事務経費	2,014,322	事務経費	1,630,069		工事請負費	0	工事請負費	0		
	本社経費	0	本社経費	0		備品購入費	0	備品購入費	0		
	その他	0	その他	0		その他	0	その他	0		
	計	10,735,322	計	10,512,124		計	10,000,560	計	10,000,560		
自主事業	収入		収入								
	支出		支出								
	自主事業損益	0	自主事業損益	0							
損益	-799,322		-571,160		差引	-10,000,560		-9,998,260			
人件費比率【人件費(賃金等)／令和6年度指定管理者事業支出】(支出に占める人件費の割合)									67.5%		
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由											

5 管理運営全般 ※ すべて ☒ で、「3」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

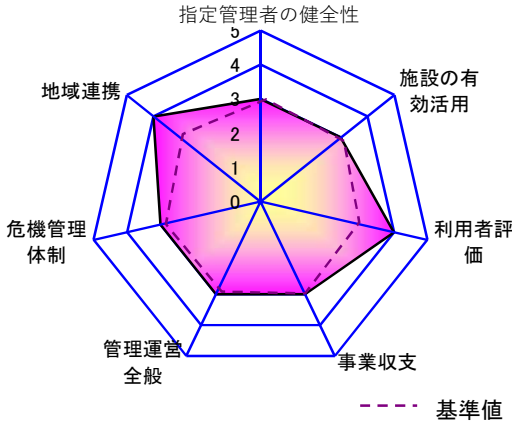
区分	確認内容	チェック欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	☒	3
	配置実績 (うち市内雇用職員数) 館長1人(1人)、主事1人(1人)、事務職員1人(1人)		
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか		
平等利用	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか	☒	3
	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか		
経理	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか	☒	3
	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか		
施設・備品の維持管理	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか	☒	3
	2 備品はⅠ種、Ⅱ種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか		
セルフモニタリング等	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか	☒	3
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか		

危機管理体制	区分	確認内容	チェック欄	評価
	安全対策	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	☑	3
		2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか		
		3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか		
	個人情報保護	1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	☑	
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか	☑	
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
	緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	☑	
		2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか		

7 地域連携

地域連携	地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。	評価
	協定内容・指定管理者提案	追加された内容、未実施の内容及びその理由
	1 地公連の事務局として地域公民館の要となり、地域公民館の相談に対応し連携を図る。 2 職員は、地域行事に積極的に参加し、住民との連携を図る。 3 住民自治協議会の各部会と共催して事業を行い、地域全体と連携を図る。 4 小学校・保育園と連携し、保護者・祖父母も含めた事業を行い、PTAとの連携を図る。 5 講座の講師は、地元から積極的に採用し、地元の人材を活用する。 6 地域・地元との連携を円滑に行うため、職員は可能な限り地元から採用する。	4

【総合評価】

【総合評価】						
総合評価	評価項目	評価	得点	総合評価		
	指定管理者の健全性	3	6	合計得点		
	施設の有効活用	3	12			
	利用者評価	4	16	66		
	事業収支	3	6			
	管理運営全般	3	12			
	危機管理体制	3	6			
	地域連携	4	8			
	評価理由	【利用者評価を4とした理由】 ・講座数や定員を絞ることで、講座の質が上がり、利用者の満足度が高くなったこと（講座終了後のアンケートでは、満足・やや満足で100%の回答を得ている）。 ・職員から利用者への声掛けや親身な対応により、気軽に要望を寄せることができ、その要望を参考に講座の企画・開催ができていること。を評価した。 【地域連携を4とした理由】 ・小学校と連携し、総合的な学習の時間を公民館講座で受け入れたこと。 ・地元講師を招いた教室や独自のスマホ教室、地元食材を使った料理講座を開催し、地域の学びを推進したこと。を評価した。				
取組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの課題		改善状況	改善案等(改善されていない場合)		
次年度の目標・ 取組み等 (施設所管課)	・新型コロナウイルス等感染症防止対策を徹底し、引き続き利用者が安心して利用できる施設を目指す。 ・ホームページや地区回覧等、さまざまな情報発信を行い、施設の魅力や講座をPRし、利用者の増加を目指す。 ・住民自治協議会や小中学校をはじめとする教育機関、地域の事業者と連携した事業の実施を目指す。 ・令和8年度は、支所合築の新築建物に移転し交流センターとなる。また、運営も市直営となることから、円滑な移行ができるよう、指定管理者と緊密に連携し準備をすすめる。					

指定管理者自己評価

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

- ・積極的の利用者の声を聴いて企画に生かした。
- ・地元の知識や経験を有する人材を講師に招き、技術や文化の継承につなげた。
- ・地域公民館、住自協と連携し、地域全体でスポーツや文化の振興と住民交流の促進を図った。
 公民館、地公連、住自協等から成る実行委員会を組織、芋井区民運動会を開催
 公民館、地公連、住自協から成る実行委員会を組織、芋井文化芸能祭を開催
 地公連と共催で芋井ボウリング大会を開催

② 業務の効率化に対する取組み

料理講座に使用する食材など、地元の生産者から調達し、効率化とともに地産地消に努めた。

③ その他

トイレが配管の構造的に詰まりやすく、利用者の不便にならないよう素早く対応した。
 運動会等、屋外イベントにおいて活用するため TENT を購入した。

(2) 指定管理者業務実施上の課題

施設の老朽化に伴う管理コスト等の増加

(3) 総合評価

評価基準

【A】計画や目標を大きく上回る 【B】計画や目標を上回る 【C】計画や目標どおり
 【D】計画や目標を下回る 【E】計画や目標を大きく下回る

指定管理者
自己総合評価

C

① 評価理由

・講座実施については、館外講座の訪問先都合によりやむを得ず中止したものもあったが、追加で実施・増加した講座もあり、全体として当初予定と同程度に実施できた。利用者も見込みと同程度となった。建物管理は利用者の利便を優先し適切に実施した。利用者のアンケート結果では満足＋やや満足が100%と高い評価をいただいた。

② 次年度以降の取組み

公民館への意見を集め今後の運営に生かすため、インターネットなどの活用を検討したい。